

## 「課題研究」ルーブリック評価(プロセス評価)

この評価基準は、課題研究を行っている途中で、テーマ設定、研究手法、取組状況、グループの各観点から評価を行うことを想定しているものです。

領域	評価観点	評価尺度					0(N/A)
		5(S)	4(A)	3(B)	2(C)	1(D)	
		求めているレベルを越えて達成している	求めているレベルを十分に達成している	求めているレベルをおおむね達成している	求めているレベルを達成できていないが、幾分の努力が認められる	求めているレベルを達成するには大きな課題がある	基準が該当しない
テーマ設定	先行研究	研究テーマに関連する先行研究の文献や資料を想定を超えた範囲まで丹念に調べており、研究に関する広範囲な情報を得ている。	研究テーマに必要な先行研究の文献や資料を精力的に調べており、研究を遂行していくために十分な情報を得ている。	研究テーマに必要な先行研究の初歩的な文献や資料を調べることで、何が研究されているのかをおおよそ把握している。	研究テーマに必要な先行研究を多少調べたものの、これまで研究されてきた内容を十分把握できていない。	研究テーマに必要な先行研究を調べていない。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
	課題意識と発展性	先端的／現代的な課題意識でテーマ設定がなされており、今後の研究により学術的・社会的な問題解決へと発展していく可能性が高い。	学術的・社会的な課題意識をもとにテーマが考案されており、今後の研究により課題解決に結びつくことが期待される。	学術的・社会的な課題意識をもとにテーマを考えようとしているが、必ずしも目新しい発想というわけではない。	学術的・社会的な課題意識から考えたというよりも、表面的な発想からテーマ設定を行っている。	単なる思いつきによるテーマ設定である。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
研究手法	計画・準備と進捗状況	データ収集、分析、原稿作成などの実施時期や方法を進んで担当教員に相談・報告し、研究を主体的に進捗させている。	データ収集、分析、原稿作成などの実施時期や方法を担当教員に相談・報告し、計画どおりに進めることができる。	データ収集、分析、原稿作成などの実施時期や方法を担当教員と検討し、若干の遅れはあってもおおむね計画どおりに進めている。	実施上の日程計画や方法に関する検討や担当教員との打ち合わせが十分ではなく、計画どおりに進めることができていない。	実施上の日程計画や方法を持ち合わせていないため、見通しを持たないままその場の成り行きで行っている。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
	研究方法の妥当性	研究目的を達成するための、緻密で発想に富んだ研究方法が考案されている。	研究目的を達成するのに、現実性のある研究方法が具体的に考えられている。	研究目的に照らして研究方法を検討しているが、方法の実行可能性については、さらに検討していく必要がある。	研究方法は考えているが、研究目的を達成するためには検討が不十分である。	研究方法を自分で考えようとしていない。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
取組状況	好奇心・興味関心・探究心	確固たる課題意識から研究に着手し、強い好奇心で研究を進めている。そのため研究テーマを深く探究し、関連事項にも課題意識が広がっている。	自らの課題意識から研究に着手し、興味がさらに深まっている。また、研究テーマの探究を行ったことで関連事項にも興味が広がっている。	研究を進めるにつれて興味を抱く事柄に出会えたため、関心をもって研究テーマに取り組んでいる。	研究を進めるにつれて興味を抱く事柄もあったが、進んで研究テーマを深めるところまで行っていない。	研究を進める中で、自分が興味を抱く事柄を見出すことができていない。または、研究テーマを探究する意欲に欠ける。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
	創意工夫・オリジナリティ	豊富な先行研究をふまえた上で、調べた資料やデータから独創性のあるアイデアを導き出している。	先行研究をふまえながら、調べた資料やデータを自分なりに解釈しようとしている。	調べた資料やデータを自分なりに解釈しようとしているが、解釈が先行研究に引きずられている面もある。	調べた資料やデータに独りよがりな解釈をしていたり、先行研究と無理やり関連づけたりしている。	調べた資料やデータの単なる羅列であったり、先行研究のまる写しであったりする。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
グループ	役割分担と協力	自分の役割を積極的に果たしながら、他のメンバーの手助けを行い、グループ研究で行う優れた研究をリードしている。	自分の役割を十分果たすとともに、建設的な意見を出すなど、グループ研究に貢献している。	自分の役割はおおむね果たしているが、他のメンバーへの寄与はさほど大きくない。	自分の役割は自覚しているものの、それを十分果たせていない。	自分の役割を果たそうとせず、グループの他メンバーに頼りきりである。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。